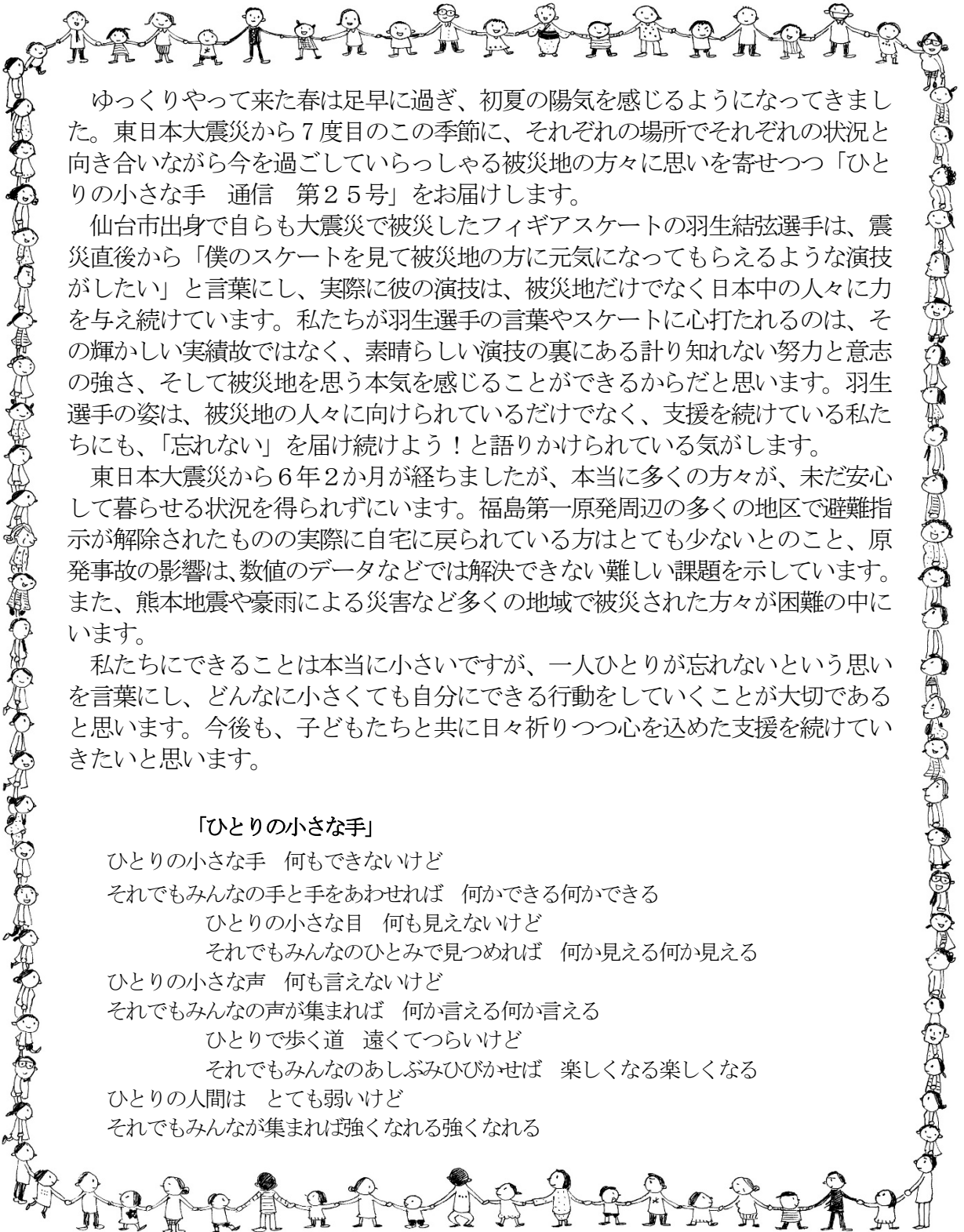


2017. 5. 12.



ゆっくりやって来た春は足早に過ぎ、初夏の陽気を感じるようになってきました。東日本大震災から7度目のこの季節に、それぞれの場所でそれぞれの状況と向き合いながら今を過ごしていらっしゃる被災地の方々に思いを寄せつつ「ひとりの小さな手 通信 第25号」をお届けします。

仙台市出身で自らも大震災で被災したフィギアスケートの羽生結弦選手は、震災直後から「僕のスケートを見て被災地の方に元気になってもらえるような演技がしたい」と言葉にし、実際に彼の演技は、被災地だけでなく日本中の人々に力を与え続けています。私たちが羽生選手の言葉やスケートに心打たれるのは、その輝かしい実績故ではなく、素晴らしい演技の裏にある計り知れない努力と意志の強さ、そして被災地を思う本気を感じることができるからだと思います。羽生選手の姿は、被災地の人々に向けられているだけでなく、支援を続けている私たちにも、「忘れない」を届け続けよう！と語りかけられている気がします。

東日本大震災から6年2か月が経ちましたが、本当に多くの方々が、未だ安心して暮らせる状況を得られずにいます。福島第一原発周辺の多くの地区で避難指示が解除されたものの実際に自宅に戻られている方はとても少ないとのこと、原発事故の影響は、数値のデータなどでは解決できない難しい課題を示しています。また、熊本地震や豪雨による災害など多くの地域で被災された方々が困難の中にいます。

私たちにできることは本当に小さいですが、一人ひとりが忘れないという思いを言葉にし、どんなに小さくても自分にできる行動をしていくことが大切であると思います。今後も、子どもたちと共に日々祈りつつ心を込めた支援を続けていきたいと思っています。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど

それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる

ひとりの小さな目 何も見えないけど

それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える

ひとりの小さな声 何も言えないけど

それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える

ひとりで歩く道 遠くてつらいけど

それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる

ひとりの人間は とても弱いけど

それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

◇活動報告

○バレンタインデーには手作りチョコレートを送り、大変喜ばれました。甘いものを食べて元気になります。つつい食べ過ぎてしまいそうです(笑)…とお手紙をいただきました。

○2017年3月12日(日)

第15回 東日本大震災支援チャリティーコンサート開催

去る3月12日(日)の午後、レガレ・ピアノデュオ 香川真澄さん、井上絵美さん、そしてナレーターの平沢まりえさんをお迎えしてのコンサート「光のこどもたち」

珍しい動物が出てくる素晴らしい映像とナレーション、そしてピアノが奏でる音楽が一つとなって、とても興味深い楽しいコンサートとなりました。

香川さんと井上さんは第5回チャリティーコンサートに引き続き2回目の出演。野毛山でのチャリティーコンサートをきっかけに活動の輪が広がったとのことでした。子どももおとなも一緒になって被災地に心を寄せて祈りを捧げられましたことに心より感謝いたします。



また、手作りの手芸品やケーキのバザーも皆さんに喜んでいただくことができました。

チケット代 69,500円 義援金 18,900円

手作り品バザー 42,200円 ケーキバザー 36,900円

出演者交通費など経費を除く、チケット代、義援金、バザー売上金は、次の通り、被災地へ送らせていただきました。

原町聖愛こども園・原町教会 50,000円

千厩子羊幼稚園 20,000円

震災支援音楽プロジェクト 30,000円

たくさんの方々にご来場、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

○手作りマーマレード

広島から送っていただいた無農薬夏みかんを使ってマーマレードを作り、販売いたしました。マーマレード作りを手伝ってくださった方々にも感謝いたします。

マーマレードバザー 61,500円



チャリティーコンサートの収益残金を合わせてキリスト教保育連盟の「熊本・大分地方地震災害支援献金」に100,000円を献金させていただきました。(5月2日送金)

◇お顔の見える支援を続けています

原町教会&原町聖愛こども園（福島県 南相馬）

南相馬にある原町教会、そして原町聖愛こども園。（2016年4月より保育園からこども園に変わりました）今までに奈良園長は2回ほどお見舞いに伺いましたが、原発、放射能の問題はまだまだ大変で、そのとらえ方はそれぞれだそうです。会ったことはなくても、みんなお友だちです。

陸前高田の方々 ほっとカフェ

本園のランチ調理員の方の友人 佐藤文子さんは、臨床心理学博士、アートセラピストです。陸前高田の状況を知り、足腰の立つうちは現場で働きたいという思いで陸前高田市教育委員会で、被災された方のカウンセリングをされており、現在、東北大学災害科学国際研究メディカルメガバンク機構の研究者として過ごされる中で、陸前高田に月1回行かれています。被災された方が少しでも心を開いてくださるようにと開かれたカフェでの活動では、皆さんにお出しするお菓子が手作りだと、気持ちが温かくなるとお聞きし、手作りのケーキやクッキーなどを送っています。



南相馬ファクトリー

南相馬ファクトリーは「つながり∞（むげん）ふくしま」という東日本大震災の復興プロジェクトのひとつとしてスタートし、震災で壊滅的な状況に陥っていた福島県太平洋沿岸の地域（浜通り地方）の福祉作業所に仕事をつくり、工賃収入を安定させることを大きな目的として活動されています。

震災支援音楽プロジェクト

コカリナ奏者黒坂黒太郎さんは音楽を通して被災地へ支援されています。

「奇跡の一本松」の枝をいただいてコカリナを作り、そこで演奏されたとお聞きしています。また、陸前高田の全小学生と教職員に高田松原コカリナを送ったそうです。コカリナつながりです。

直接、お会いしたり、手渡しできたりする支援先を中心に、私たちのできることを続けていきたいと考えています。

◇被災地の情報コーナー

教育館玄関に、震災や被災地支援に関するコーナーを設置しています。

また、野毛山幼稚園 HP [ひとりの小さな手](#)を開いていただくと、今までの通信を見ることができます。

◇優しい香り募金

教会のシャロン会(婦人の会)が手作りした三角のかわいい布の中にポプリが入っています。

100円募金をしてくださった方に差し上げています。

「優しい香り募金」として優しい気持ちを広げていきたいと思ひます。

常時設置しています。ご協力お願いいたします。

(ダンスや靴箱に入れたりしても Good!)



◇仙台 東六郷小学校の閉校を音楽で送るプロジェクト

東日本大震災で被災した東六郷小学校。校舎が被災して使用できなくなったため、震災後は近隣の中学校にて授業を続けていましたが、閉校することが決定しました。そのことを知った第14回チャリティーコンサートに出演くださったウクレレ奏者のEriさんが「東六郷小学校の閉校を音楽で送りたいプロジェクト」にかかわられているということを知り、ひとりの小さな手でも支援をいたしました。

2017年3月25日 肌寒い仙台。

六郷中学校でコンサートを開き、たくさんの方々と閉校の時を迎えたそうです。

閉校に向けて作ったオリジナルCDを送っていただきました。

震災から6年が経ち、校舎も学校もなくなってしまいましたが、仲間が会えばいつでもハロー、アゲイン。そんな絆がいつまでも続きますようにとの思いを込めて作られたCDです。

東六郷小学校の未来へ **ハロー、アゲイン!**



◇今後の予定

○第16回 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート



第16回チャリティーコンサートは次の通り開催予定です。

今回は、どなたにでも気軽にコンサートにいらしていただけるようにと企画して下さっています。普段、コンサートに足を運ぶことが難しい小さいお子さんのいらっしゃる方も、今回のコンサートは気兼ねされることなく参加できます。

バッハ、モーツァルトをはじめとしたクラシックの珠玉の名曲の数々を演奏していただきます。

小さいうちから本物の音楽に触れることはとても素晴らしいことです。

ぜひ、多くの方々にご来場いただきたいと思います。

2017年11月12日(日) 13:00 開場

13:30 開演

出演 中瀬 香寿子さん(フルート)
小池 節子さん(ピアノ)

詳細は、後日、ちらしやHPにてお知らせいたします。

どうぞご予約くださいますよう、お願いいたします。

発行 2017年5月12日

ひとりの小さな手プロジェクト

事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地

野毛山キリストの教会・子どもの教会 野毛山幼稚園

根岸ひろみ 浅井知美 奈良亜樹子